

平成30年度 教育委員会予算案提示！

厳しい財政状況のため、全体としては前年度より縮減されていますが、『学校における働き方改革』、『コミュニティ・スクール』、『高校での特別支援教育体制整備』、『小学校英語』等の充実を目指す予算編成となっています。

○新 学校業務支援員配置事業

学校の事務的業務を補助する「学校業務支援員」を配置する市町を支援

- ・資料印刷・整理、データ入力、会計業務等の事務的業務を担う
- ・県内小・中学校 70校（H29年度の平均時間外業務時間が60時間以上の学校対象）

○新 やまぐち部活動応援事業

部活動の活性化及び顧問である教員の負担軽減を図るための部活動指導員の配置

- ◇ 部活動指導員の配置
 - ・公立中学校・県立学校等に合計122人配置
 - ・校長の監督下において技術的な指導や大会への引率等の業務を担う
- ◇ 部活動指導員養成システムの構築
 - ・地域のスポーツ人材等に対し、段階的な資質の向上を図り、次の部活動指導員を養成

○新 地域教育力日本一推進事業

コミュニティ・スクールが核となる「やまぐち型地域連携教育」の充実

- ◇ 地域連携活動支援員の配置
 - ・学校が行う地域連携のための事務的業務の支援を行う人員を配置する市町を支援
 - ・各市町のモデル中学校区30人配置

○新 高等学校における特別支援教育体制整備充実事業

「高等学校における通級による指導」の制度運用に向けた取組の推進

- ◇ 通級による指導の導入に向けた実践研究
 - ・研究指定校でモデル的に実践
- ◇ 通級による指導の導入に向けた支援態勢の構築
 - ・特別支援教育センター校（7校）と地域の高等学校が連携した支援態勢の構築

○拡 小学校英語専科教員の配置

専門性の高い学習指導や教員の持ち授業数の負担軽減のため、小学校英語専科教員を配置

- ◇ 小学校への英語専科教員の配置
 - ・専門性に基づいた5・6年生の外国語活動の学習指導
 - ・モデル指定校14人配置

○新 小中学校日本語指導支援員配置事業

基地周辺地域の市町立小中学校への日本語指導支援員配置を支援

等

きめ細かな指導の充実のための

☆ 義務制35人学級化 ☆ 小1プロブレム解消のための30人学級化

☆ 学力向上等支援員 ☆ 児童生徒支援加配教員 ☆ 生徒指導緊急加配教員 等

については今年度並みの予算が計上されています。

詳細は県教連情報 656号(3月発送)に掲載いたします。